

私たちは、絶えず変化し続ける世界に生きています。都市は成長し、ニーズは進化し、そして未来の課題は人々・経済・環境のあいだで複雑に絡み合っています。この複雑性を適切にマネジメントするためには、データ、モデル、インサイトを融合した新しい視点が必要です。

今日を理解し、明日を描くための、領域のデジタルビジョンです。

NTT データの「テリトリー・デジタルツイン」は、この考え方から生まれたものであり、現実世界とそのバーチャルなレプリカをつなぐアプローチです。本ソリューションは、デジタルツインの3つの柱に基づいて構築されています。デジタルライゼーションにより、プラットフォームは地理情報、人口統計、サービスデータを統合し、包括的で多層的な視点を提供します。モデリングによって、都市の動態や地域のトレンドを理解するための指標やKPIを算出します。

さらにフォーサイトにより、未来のシナリオをシミュレーションすることができます。地図上をクリックするだけで、生活に必要なものがすべて徒歩圏内に揃う「15分都市」を可視化できます。

ユースケースは多岐にわたります。モビリティ計画のための交通管理、投資・計画・コミュニケーションに役立つロケーションインテリジェンス、サプライチェーンのためのダイナミックインサイトなど。領域を理解し、より持続的で意識的な未来へ導きたいと考えるすべての方に向けた、クロスセクター型のツールです。

NTT データのテリトリー・デジタルツインは、単なるテクノロジーではありません。領域を読み解き、存在するものとこれから生まれるものを結びつける新しい方法です。それは、データを知識へ、知識をビジョンへ、そしてビジョンをアクションへと変換します。

都市の未来をつくるということは、ここから——デジタルツインから始まります。